

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和2年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄气象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図1～5）

17日に実施した、海上保安庁による上空からの観測では、グスク火山火口北側の内壁及び硫黄岳火口内に引き続き白色の噴気が確認されました。島周辺に変色水域は確認されませんでした。

22日に実施した、気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」による海上からの観測でも、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、白色の噴気が確認されました。また、島周辺に変色水域は確認されませんでした。風下側でやや強い硫化水素臭が感じられました。



図1 硫黄鳥島 噴気位置と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧できます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



図2 硫黄鳥島 硫黄鳥島の全景（11月22日）



図3 硫黄鳥島 ガスク火山火口の状況（11月22日）

- ・引き続き白色の噴気が確認されました。

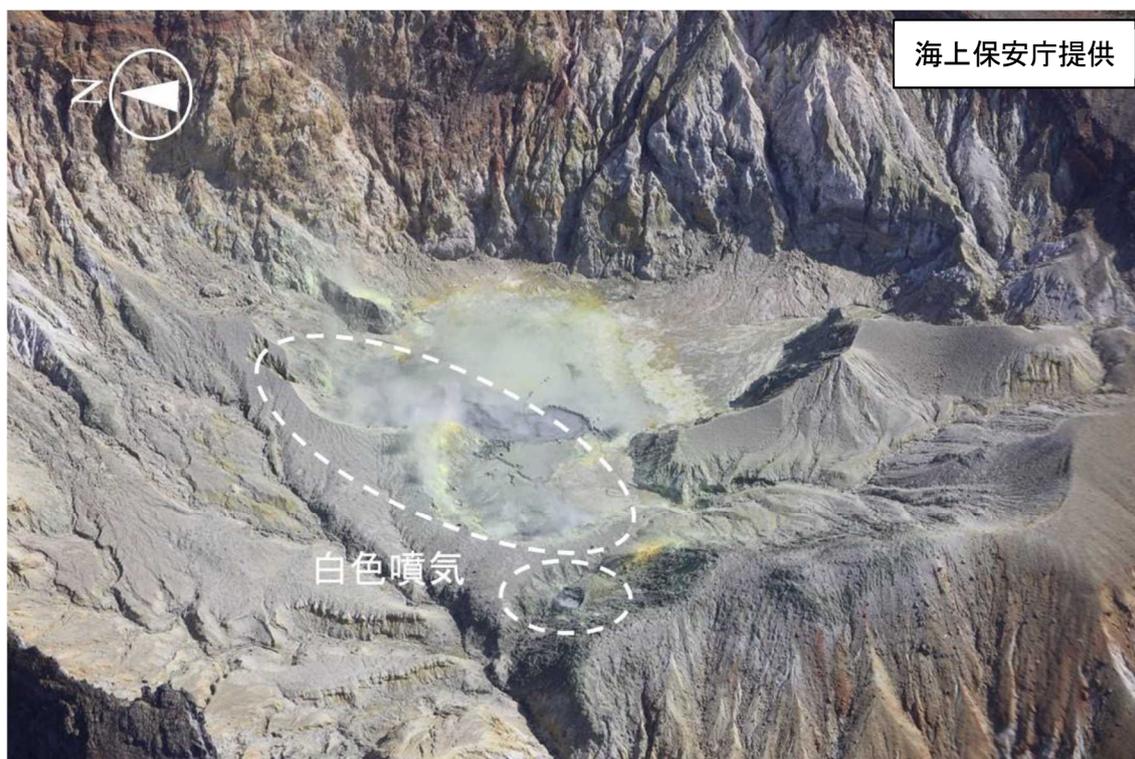


図4 硫黄鳥島 硫黄岳火口内の状況（11月17日）

- ・硫黄岳火口内で引き続き白色の噴気が確認されました。

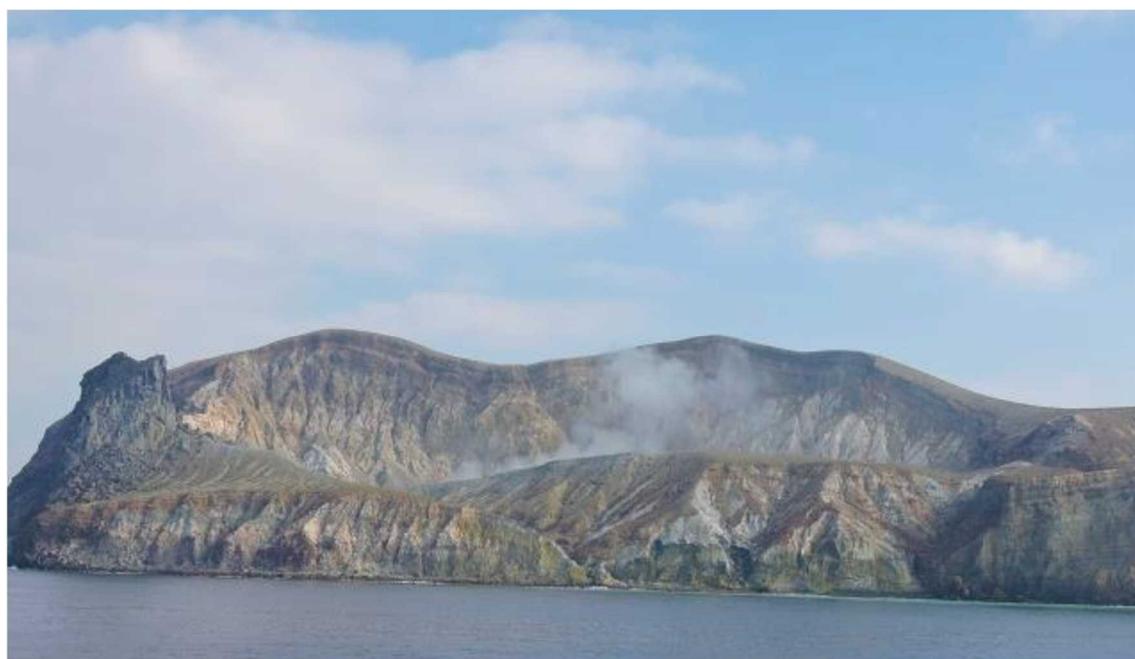


図5 硫黄鳥島 硫黄岳火口の状況（11月22日）

- ・引き続き白色の噴気が確認されました。